

# 浜松情報局

遠州版

〈広告〉

広告紙面のお問い合わせ

中日新聞専属代理店  
株式会社 折込広告社  
053-401-2153

内科・脳神経内科・整形外科・  
リハビリテーション科  
精神科(もの忘れ外来)

医療法人社団 誠心会  
**桜花さくら台病院**

浜松市浜北区四大地9-68  
☎(053)582-2311  
www.sakuradai.or.jp

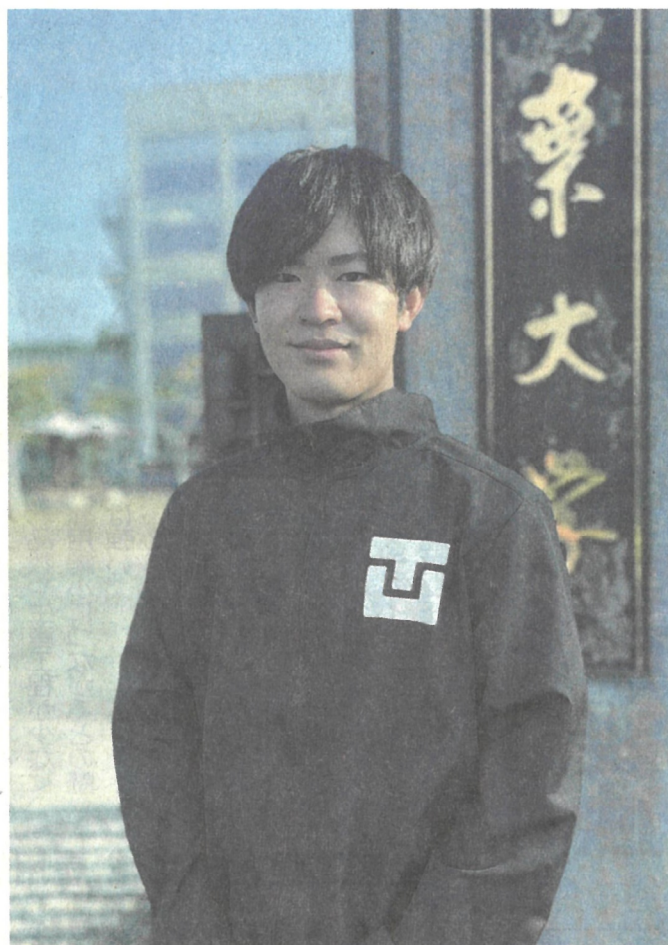
## 輝き夢追人

常葉大学浜松キャンパス  
キトルス祭実行委員会委員長  
杉浦佑真さん

### 大学祭の準備真つただ中！ 充実した学生生活を送る

常葉大学浜松キャンパス(浜松市北区都田町)では、11月4日5日に大学祭「キトルス祭」が開催される。今年で36回目を迎えるキトルス祭は、4年ぶりの本格開催となる。学友会(常葉大生を会員とする学生組織)に所属し、キトルス祭実行委員会の委員長を務める3年生の杉浦佑真さんに話を聞いた。

「今年のキトルス祭は、規制緩和を受け本格開催となりまして。常葉大学の伝統行事であるキトルス祭の再出発点となるような大切な回になるはずなんです。できることが増え、学生一人ひとりの思いを存分にぶつけられる学祭になるよう、万全の準備を



「学友会の活動をはじめ、さまざまな事に目標をもって取り組むことが充実感につながっている」と話す杉浦さん

行います」学友会ではクラブ活動の支援や学校行事の補助などを行うが、なかでもキトルス祭への思い入れは大きい。杉浦さんは2年生から本格的に活動を始め、昨年の大学祭ではお笑いライブの招致、警備に当たった。今年も実行委員会の委員長として全体を取りまとめ、60人いるメンバーのスケジュール調整に苦労しているという。



キトルス祭のテーマは「結」。「絆を結び直して思い描いた大学祭を実現させる」という願いが込められている

「1、2年生は授業が多かったり、学部によつては実習があったり、授業の大変な時期がバラバラなので、まとめて作業するのは難しいですね。学友会ではタテのつながりが深く、OBの方々からコロナ禍前の開催の進め方

などを聞いて参考にしています。コロナ禍で十分にできなかった数年を経たの開催になるので、あらためて地域の人たちと交流し、学生の学びや熱意を届けられたいと思っています」

今回は、学科開催の子ども向けイベント、学生の模擬店、お笑いライブ、地域の人たちによる朝市、打ち上げ花火など、2日間です。さまざまな催しが予定されている。

杉浦さん自身も、健康プロデュース学部心身マネジメント学科で学ぶ。体育教師を目指す。教員免許取得に向けて教職課程を受講。一般科目と専門科目を両立している。

「中学3年の担任のゼミでは「スポーツ心理学、マラソン」を専攻していて、フルマラソンの完走が課題という。10月開催のしまだ大井川マラソンinリパティに出場し、なんとしても完走します」。学業、学友会、サークルアルバイトと充実した大学生活を送る杉浦さん。「4年間で経験を培い、社会に生かしたい」と話す。

先生に影響を受けました。生徒に対する思いが熱く、進路に悩んでいるときに相談にのってもらえたおかげで、進学先で充実した高校生活が送れたと思っています。教員は授業以外にもさまざまな業務があり大変ですが、恩師のように、しっかり生徒と向き合う教師になるのが目標です」



昨年のキトルス祭。制限のあるなかでも学生模擬店にはぎわいを見せた